

第166回 教育研究評議会 議事録

日 時 平成30年11月 8日 (木)
13時30分～14時30分
場 所 事務局第一会議室 (本部棟3階)

出席者

学長 (議長)	長谷部
理事	大門、森下、中村、箱田
副学長	高木
教育学部	杉山、池田、白取
経済学部	永井、佐藤
経営学部	原、谷地
理工学部	羽深
都市科学部	齊藤
国際社会科学研究院	泉、荒木、奥村
工学研究院	渡邊、新井、眞田
環境情報研究院	根上、大谷
都市イノベーション研究院	白水、山田
教養教育主事	上ノ山
附属図書館長	志田

議 事

I 議事録確認

第165回議事録 (案) (艱1) について、原案のとおり確認した。

II 報告事項

1. 議長報告

議長から、次の事項について報告があった。

- (1) 横浜銀行との包括協定締結式 挙行 (10/16)
- (2) 毎日大学フォーラム 出席 (10/19)
- (3) YNUささらサロン 出席 (10/29)
- (4) 神奈川県教育委員会との懇談会 出席 (10/30)
- (5) 新制中規模学長懇談会 出席 (11/2)
- (6) 国立大学協会 平成30年度第2回通常総会 出席 (11/2) 《資料3-1～2-2》
- (7) 神奈川経済同友会 講演・出席 (11/5)
- (8) 国立大学協会 男女共同参画小委員会 出席 (11/5)
- (9) 神奈川県学長・知事懇談会 出席 (11/5)
- (10) 富丘会 国大経済人の会 出席 (11/6)
- (11) 横浜 記者懇話会 出席 (11/7)
- (12) 観月の会 出席 (11/7)
- (13) 秋の叙勲【瑞宝中綬章 (ずいほうちゅうじゅしょう)】受章
 - ・佐藤 東洋磨 (さとう とよまろ) 《本学名誉教授, 元教育人間科学部教授》
 - ・栗田 進 (くりたすすむ) 《本学名誉教授, 元工学研究院教授》
 - ・鳥居 薫 (とりい かおる) 《本学名誉教授, 元工学研究院教授》
 - ・中山 春夫 (なかやま はるお) 《本学名誉教授, 元工学研究院教授》

2. 委員会報告

議長 (学長) から、委員会の開催状況について、資料2-3のとおりである旨報告があった。

3. 部局等報告

各部局等から、次の事項について報告があった。

- (1) 理事（総務担当）
 - ・コンプライアンス研修について（資料3-1）
 - ・教員の任期に関する規則改正について（資料3-2）
 - ・クラウドファンディング実施の際の基本的な考え方について（資料3-3）
 - ・大学基金に係る給与からの控除による寄附について（資料3-4）
 - ・グローバルリーガルサポートセンター設置について（口頭）

10月の教育研究評議会での補足説明について、評議員から質問があり改めて説明があった。なお、今後3年間の取組内容の開示については整理をしていきたい旨の発言があった。
- (2) 理事（研究・評価担当）
 - ・研究×縁結び企画「横国研究詣で」について（資料3-5）
- (3) 理事（国際・地域・広報担当）
 - ・国立大学法人等国際企画担当責任者連絡協議会の開催について（資料3-6）
- (4) 副学長（教育担当）
 - ・平成30年度常盤祭の報告について（口頭）
 - ・プレテストの実施について（口頭）
- (5) 教育学部長
 - ・平成30年度日本教育大学協会学長・学部長等連絡協議会について（資料3-7）
- (6) 経済学部長
 - ・国立大学法人12大学経済学部長及び事務長会議並びに教員懇談会について（資料3-8）
- (7) 理工学部長
 - ・第42回国立大学55工学系学部長会議総会について（資料3-9）
- (8) 附属図書館長
 - ・平成30年度前期附属図書館活動報告について（資料3-10）
- (9) 学長選考会議議長（泉議長代行）
 - ・次期学長予定者について（口頭）
- (10) 施設部
 - ・平成30年度秋の教育研究環境美化の日（全学一斉清掃）実施報告（口頭）

- ◎以上の報告後、委員から、部局等報告（10）について意見・確認等があった。
- ・部局等報告（10）平成30年度秋の教育研究環境美化の日（全学一斉清掃）実施報告（口頭）
- 秋の一斉清掃について、学生の履修登録の関係から1週遅いスケジュールで計画していただきたい旨の意見があり、施設部長から、ご意見を踏まえ調整させていただきたい旨の発言があった。

III その他事項

1. 「平成30年度補正予算」について

議長（学長）から、意見を徴する旨説明後、理事（財務・施設担当）・事務局長から、資料4に基づき、補正予算等による財源及び執行計画案について説明があり、質疑応答後、原案のとおり経営協議会に附議することとした。

なお、委員からの意見等はつぎのとおり。

- ・①授業料収入で、非正規生による収入増及び、②学長戦略枠の支出で国際戦略強化と広報戦略強化の具体的な内訳について確認があり、理事（財務・施設担当）から、①短期プログラムのサマープログラムで留学生増加による授業料収入であること、国際戦略強化では、日本人学生の海外派遣、留学生の受入、海外インターンシップへの派遣旅費、国際教育センターの改修費、広報戦略強化では研究広報の強化から海外に出展する経費である旨の発言があった。
- ・広報関係で、冊子、パンフレット等がたくさんあるが、今の時代に印刷物を出す必要があるのかということについて確認があり、理事（国際・地域・広報担当）から、大学全体を見ながら整理していきたい旨の発言があった。

以上